弥五郎どんのごっ

曽於市立岩川小学校
TEL　４８２－００１１
FAX　４７８－１１２０
令和８年８月 21 日現在
児童数 236 人 職員数 27 人

２学期が始まります

校長　　小林　晋也

長い夏休みも残すところ、10 日間となりました。本日の出校日には、元気な声が響いていて安心しましたが、中には少し疲れ気味かなと思う子どもの姿も見受けられました。

この長い夏休みの間、子供たちはしっかりと学校からのお願い事を守ってくれたようで、これまで１件も事故や大きな病気などの報告を受けておりません。本当に、ありがたいことです。このまま、後 10 日間、怪我や病気をせずに、９月１日には全員が元気に登校してくれることを期待しております。

もし、夏休みの間に規則正しい生活習慣が少し崩れてしまったかなと思われた際には、是非、残りの 10 日間で取り戻すように、御家庭におきまして御指導のほど、よろしくお願いいたします。

さて、いよいよ２学期が始まります。４か月間の中で季節も夏から秋、そして冬へと変わる長い期間となります。学校行事も、秋季大運動会をはじめ、多くの行事が計画されており、様々な経験をとおして、心も体も成長していく時期になります。

そこで、本校では充実した２学期を送るために、以下の取組を実践してまいります。

＜岩川小学校二学期の方針＞

徳　「共に励む」学校

- ○　児童、教師ともに朝一番「明るい笑顔で、相手の目を見て」あいさつをする学校。
- ○　友達同士が「一日一人一ほめ」を行い、お互いの自己肯定感を高めようとする学校。
- ○　児童同士で起きたトラブルは、児童同士でじっくり話し合い早期に解消する学校。

知　「共に学ぶ」学校

- ○　「学び合い」により、一人も独りにしない授業の展開。
- ○　「分からないこと」を恥ずかしからずに、自然に「尋ねる」「教え合う」授業の展開
- ○　学習課題を一つレベルアップした「ジャンプ課題」を設定し、挑戦する授業の展開。

体　「共に育つ」学校

- ○　体調管理を徹底した上で、自分なりの目標へ向かって頑張る運動会練習の実施。
- ○　う歯未治療に対する粘り強い指導の継続。

どうか、御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

「当たり前の毎日の幸せ」

7月18日（土）に、末吉総合センターで曽於市ＰＴＡ会長等研修会が開催されました。わたしも出席させていただいたのですが、そのときの講演してくださった「県書道会副会長の川路広志先生」のお話を紹介させてください。

中学校の教員をされていた川路先生には、息子さんが二人いらっしゃいました。サッカー好きの二男である晃生さんは、中学３年だった2010年10月、左足に痛みを感じて最初は成長痛かなと思っていたのですが、痛みが激しくなり検査を受けたところ、骨肉腫と診断されました。それを聞いた先生ご夫婦は、目の前が真っ暗になりました。ただ晃正さんは、抗がん剤の副作用に悩まされながらも、しっかりと未来を見据えて受験勉強に取り組み、松葉杖をつきながら会場に行って受験し、見事志望校に合格しました。

受験後、病状は悪化し、左足は切除するしかないと医師に言われました。そこで骨肉腫の治療で実績を上げている金沢市の病院に転院することになりました。もしかすると、左足も切断しなくて済むかも知れないという希望を胸に出発した親子でしたが、運命は残酷で、そこで肺への転移も見つかってしまいました。それからは、どうにか命だけでもと思いながら治療に専念し、無理に笑顔を作ろうとする息子に勇気づける言葉を掛け続けました。

しかし奇跡は起こらず、2011年の12月、晃正さんは亡くなりました。高校には一日も通えませんでした。

晃正さんが元気だった頃、「どうして自分はこの子をもっと抱きしめてあげられなかったのだろう。」と悔やまれる毎日を過ごしていましたが、周りの方々から励ましの声をいただきながら、晃正さんのためにも前を向いて生きなければならないと誓いました。

講演の中で、「なんでもない日常が、どれだけありがたいか、失って初めてわかりました」と川路さんは話されました。そして、「それを教えてくれた晃生の死を無駄にしたくない」と書道展を開くことにしたそうです。毎月、命に関わる「書」を１点書き上げ、１年間で12点、それを年に１回披露してきたそうです。この講演会では、その作品も一部披露されました。

普通は成長期で身体が一番大きくなっていく次期なのに、少しずつ小さくなっていく息子さんの姿を見るのは、言葉では表現できないほどの辛さ、悲しみがあったと思います。

「子どもは元気が当たり前」でしょうか？

病気だけではなく、交通事故や先日発生した地震のような災害に巻き込まれることもあります。当たり前のような毎日を送っている今が、どれほど幸せで、どれだけ元気な子どもたちと過ごす時間が大切なのかを考えさせられた貴重な時間となりました。



日	曜	９　月　学　校　行　事
1	火	２学期始業式（給食あり）いじめ問題を考える週間（~7日）
2	水	５･６年身体計測　ＰＴＡ役員会
3	木	３･４年身体計測
4	金	１･２年身体計測
10	木	授業参観・ＰＴＡ教育講演会
13	日	ＰＴＡ愛校作業 （延期の場合27日）

日	曜	９　月　学　校　行　事
16	水	代表委員会、委員会活動
17	木	家庭教育学級（人権同和教育）
24	木	特別支援学級合同学習会
28	月	陸上記録会選考会
29	火	児童集会（運動会スローガン他） 運動会準備（５･６年）